

飲酒運転撲滅等にかかる「のぼり旗」700 枚を贈呈

～飲酒運転撲滅週間にあわせて「交通事故をなくす福岡県県民運動本部」へ～

日本損害保険協会 九州・沖縄支部(委員長：谷口 徹・損害保険ジャパン株式会社 常務執行役員)は、飲酒運転撲滅週間(※)(8 月 25 日～31 日)にあわせて、飲酒運転撲滅および高齢者事故の防止を訴える「のぼり旗」700 枚を作成し、「交通事故をなくす福岡県県民運動本部」に贈呈しました。

8 月 21 日(金)に福岡県庁で開催された贈呈式では、谷口委員長から「皆さまには地域の情勢も踏まえつつ、今回贈呈する 700 枚の『のぼり旗』をご活用いただければと考えている。今後も引き続き、福岡県や関係者の方と一層連携を深め、飲酒運転の撲滅に貢献して参りたい。」との挨拶があり、同運動本部の宮崎常任委員(福岡県市町村・地域振興部長)に「のぼり旗」を手渡しました。宮崎常任委員からは「昨年、福岡県において飲酒運転による事故が 96 件発生した。飲酒運転事故件数を『ゼロ』にすることが究極の目標である。特に、8 月 25 日は節目の日であり、飲酒運転撲滅への意識を一層高めていきたい。のぼり旗は、警察や各市町村を通じて、県内各地での交通安全啓発活動に有効活用される予定である。」とのお礼の挨拶がありました。

九州・沖縄支部委員会では、引き続き、関係団体等と連携のうえ、飲酒運転撲滅等に向けた啓発活動に取り組んでいきます。

※飲酒運転撲滅週間は、2006 年 8 月 25 日に発生した「海の中道大橋」飲酒運転事故を風化させず、飲酒運転撲滅の誓いを新たにする契機とすべく、「交通事故をなくす福岡県県民運動本部」が設定しています。



贈呈の様子



集合写真